

コミュニケーションスキルを 育てるための環境づくり

会話や遊びに参加すればするほど、
コミュニケーションスキルが磨かれていく5歳児。
親子で本を読んだり、会話をしながらアルバムをつくったり、
子どものコミュニケーションスキルは、
日常生活のちょっとした工夫で伸ばすことができます。

Ambitious
清水絵津子さん

ビジネスマナー講師、コンサルタント。企業、団体、ゴルフ場等での接遇（ビジネス）マナー・営業マン研修や講演活動を行う「Ambitious」代表。形だけでなく、徹底して現場で即実践出来る、わかりやすい教え方が好評。



近頃は、友だちと上手にコミュニケーションが取れない中高生が増えているそうです。こうしたコミュニケーションスキルの“未成熟さ”にはさまざまな要因が考えられますが、そのひとつに「人の話を聞けない」ことが挙げられます。当たり前のことですが、コミュニケーションは、お互いに話を聞きあい理解しあうことで成立するもの。そして、人の話を聞くという習慣は幼い時期から少しずつ身につけていくものです。言い換えれば、ママやパパがしっかりと子どもの話を聞いてあげられるかどうかによって、コミュニケーションスキルの発達が大きく左右されるのです。とはいえ、子どもの言葉一つひとつに対して気の効いた返事をしたり、的確なアドバイスをする必要はありません。話を聞いた後に「それは良かったね!」、「大変だったねえ」など、子どもの気持ちを理解し、共感してあげることが大切なのです。

とくに5歳を迎える頃になると、子どもは見るもの聞

くものすべてに関心を抱き吸収しようとします。コミュニケーションスキルを伸ばしてあげるためには、日頃から子どもの言葉にしっかりと耳を傾けるための環境づくりが大切です。おすすめは、部屋の中に自由に本が読める“本のコーナー”をつくって親子で本を選ぶこと。音楽を聴いたり、動物や自然の映像を観たり、家族写真を見ながらアルバムをつくるのもいいですね。ポイントは親子で一緒に体験する機会を用意して、そこで生まれる子どもの感情を共有してあげること。そうすれば、

子どものコミュニケーションスキルは自然と磨かれていきます。ママ自身も心が癒されたり、新しい発見ができるかもしれませぬ。

